

第31回静岡県伐木技術競技会 チェーンソー及び服装・保護具審査表

選手番号：

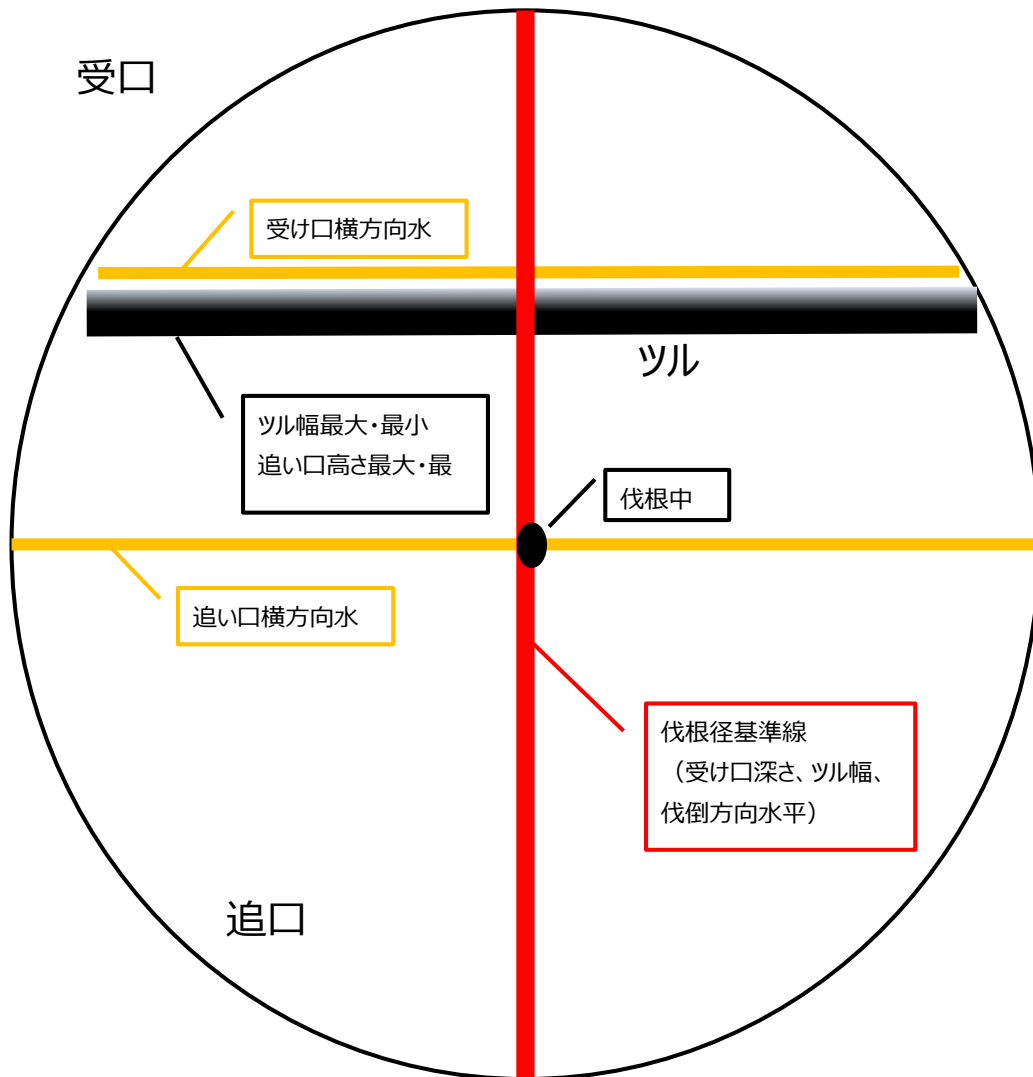
選手氏名：

審査項目		チェック			減点	審査基準	*競技者・★審査員特記
チェーンソー	チェーンブレーキの作動	OK	NG			自然落下作動確認	安全装置が全て正常でない場合は失格とする。 失格 （丸で囲う）
	チェーンキャッチャーの脱落、破損	OK	NG			変形はNG	
	スロットトリガーロックアウトの脱落、破損、作動不良	OK	NG				
	防振スプリング（ゴム）の脱落、破損	OK	NG				
	前後ハンドガードの脱落、破損	OK	NG				
	法定適合シール	OK	NG			★シールがない場合	
	反則（チェーンソーへのマーク追加）	OK	NG			★反則があった場合	
服装・保護具	ヘルメットは飛来・落下適合品とし、変色等経年劣化していないもの	OK	NG				服装・保護具が適正に着用されていない場合は失格とする。 失格 （丸で囲う）
	ヘルメットの顎紐の緩み	OK	NG				
	フェイスガードの破損	OK	NG				
	イヤーマフ（耳栓）の破損	OK	NG				
	袖締まりの良い長袖	OK	NG				
	防振手袋の破損	OK	NG				
	防護ズボンの破損	OK	NG				
	防護ブーツの破損	OK	NG				

競技進行順序及び審査項目		規定値	配点	減点	審査基準	*競技者・★審査員特記
競技開始合図						
準備	服装と保護員の着用	全て着用			裾締まり、袖締りの良い服装をし、不備の無い保護具や安全具（安全靴・足袋、防護スボン、防振手袋、ヘルメット、フェイスガード、イヤーマフ、笛）を着用している ★一つでも不備のある場合は失格	【競技前準備】 ・伐倒木から10mの位置に伐倒方向明示杭を設置 ・退避場所明示杭の設置 ・周囲の整理と牽引員の準備
	反則				チェーンソーに標準装備された以外のマーキング −50 法定適合シールなし −50	【服装・保護具審査等】 ・競技者が退避場所で待機中に実施 ・機械審査済シールの確認
	伐倒木の周囲の整理		10		整理をしている	・伐倒方向、退避場所の審査
	退避場所の位置		30		伐倒方向を中心線として、後方30度以内に入らない斜面上部の安全を確保できる位置	
	小計		40			
伐倒前安全確認	指差し呼称					【競技開始】 ・競技者は、退避場所にて機
	上方		10			・審査員の笛の合図により競技開始
	周囲		10		明確な実行をしている	・審査員の開始合図で時間計測開始
	伐倒方向		10			
	退避場所		10			
	小計		40			
受口	作業開始前合図（笛）		10		安全確認終了後に、明確な実行をしている	
	エンジン始動		10		地面に置いて固定若しくは両足で挟んで固定	
	チェーンソーの使用		20		・エンジン始動時、移動時、工程毎の作業終了時 ・チェーンソーを片手持ちする時	
	キックバック		20		キックバックの有無	
	保護具の使用		30		作業中にイヤーマフやフェイスガード等を確実に使用	
	正確性（受口の修正）		20		1回の切削毎に、修正1回とカウント 修正2回以内 −0 3回以上4回以内 −10 5回以上 −20	・競技者が受口確認後、審査員は競技停止の笛の合図を行う
	作業中の足場の確保と身体的位置、姿勢		20		・受口をつくり易い位置に安定して身体を置いている ・チェーンソーを身体の一部に預けるなどして、手だけで持っていない	
	作業の流れ		20		無駄の無い作業手順を実行している。 良 −0、可 −10、不可 −20	・審査員の中断合図で時間計測中断
	受け口の確認（指差し呼称）		10		明確な実行をしている	・競技者は退避場所で待機
	水平切高さ	地際から15cm以下	10		地際からの高さ	・受口角度の計測と会合線の確認
	水平切深さ	8cm以上10cm以下	30		規定値内 −0 誤差0.5cm未満 −10 誤差0.5cm以上 −30	★伐倒木へのマーキング及び芯切、斧目は反則
	斜め切角度	45度以上	30		規定値以外 −30	
	会合線	完全な一致	30		完全な一致以外 −30	
	伐倒方向水平	0度	20		0.5度未満 −0 0.5度以上1度未満 −10 1度以上 −20	
	横方向水平	0度	30		0.5度未満 −0 0.5度以上1度未満 −10 1度以上 −30	
	反則（芯切、斧目）				総合点には加算しないが反則があった場合 −50	
	小計		310			
競技停止合図						
競技進行順序及び審査項目		規定値	配点	減点	審査基準	*競技者・★審査員特記
競技再開合図						
追いつ	指差し呼称 周囲		10		明確な実行をしている	
	伐倒前合図（笛）		10		明確な実行をしている	
	エンジン始動		10		地面に置いて固定若しくは両足で挟んで固定	
	チェーンソーの使用		20		エンジン始動時、移動時、工程毎の作業終了時 チェーンソーを片手持ちする時	
	キックバック		20		キックバックの有無	
	保護具の使用		30		作業中にイヤーマフやフェイスガード等を確実に使用	
	作業中の足場の確保と身体的位置、姿勢		20		・追いつをつくり易い位置に安定して身体を置いている ・チェーンソーを身体の一部に預けるなどして、手だけで持っていない	・受口の計測と確認後、審査員の合図により、競技再開
	作業の流れ		20		無駄の無い作業手順を実行している。 良 −0、可 −10、不可 −20	・審査員の合図により時間計測再開
	追いつ高さ	3cm以上	20		規定値以内で誤差0.5cm未満 −0 規定値以内で誤差0.5 c m以上1cm未満 −10	・再開後、競技者は退避場所より出て伐倒前合図から競技再開
		5cm以下	20		規定値以内で誤差1 c m以上 −20 規定値外 −20	・追いつ高さ、ツル幅は最小・最大値を計し、それぞれ指定数値内かを審査
	追いつ両端高さ誤差	0.5cm	20		規定値外 −20	・各計測値は、競技者各自の伐根に表示
	ツル幅	2cm以上	30		規定値以内で誤差0.5cm未満 −0	★伐倒木へのマーキングは反則
		3.0cm以下	30		規定値以内で誤差0.5 c m以上1cm未満 −20 規定値以内で誤差1 c m以上 −30	
	ツル幅平行誤差	0.5cm	30		規定値外 −30	
	伐倒方向水平	0度	20		0.5度未満 −0 0.5度以上1度未満 −10	
	横方向水平	0度	20		1度以上 −20	
	反則（伐倒木へのマーキング）				反則があった場合 −50	
	小計		330			
伐倒退避	クサビの使用のタイミング		10		クサビを使用するタイミング	
	クサビの大きさと枚数		10		適正な大きさのクサビを2枚使用している	
	クサビの使用方向		10		クサビの使用方向が適正である	
	退避の有無		40		退避場所への退避をしている	・伐倒時のクサビは2枚を伐倒方向を基本として使用 （通常伐倒時の横方向の使用は減点、追いつツル伐り時の横使用はOK）
	退避のタイミング		30		伐倒木の倒れ始めを判断し、素早い退避をしている	
	退避の経路		30		伐倒木の回り込みなど、危険な退避経路を使用していない	
	裂け		30		裂けの有無	
	指差し呼称					
	伐倒方向上方		10		明確な実行をしている	・競技者の伐倒終了合図で時間計測終了
	伐倒木の安定		10			
	伐倒終了合図（笛）		10		安全確認終了後に合図をしている	
	作業の流れ		20		無駄の無い作業手順を実行している 良 −0、可 −10、不可 −20	
	伐倒予定方向		30		予定方向への伐倒	
枝払い	競技時間	競技開始から競技木の伐倒まで			1位 +30、 2位 +20、 3位 +15 4位 +10、 5位 +5	
	小計		240			
	エンジン始動		10		地面に置いて固定若しくは両足で挟んで固定	
	チェーンソーの使用		20		エンジン始動時、移動時、工程毎の作業終了時 チェーンソーを片手持ちする時	
	キックバック		20		キックバックの有無	
	作業の流れ・移動・正確性		60		適正な姿勢で無駄の無い作業手順を実行している 幹に沿って正確に枝払いができている 優良 −0、良 −20、可 −40、不可 −60 バーが幹の自分側にある時に移動した時（1回につき−20）	・伐倒終了後、審査員の指示により開始する
	作業中の足場の確保と身体的位置		20		安全な位置に足を置き、材と適正な間隔を取っている。	
	身体に負担の掛からない作業姿勢		20		チェーンソーを身体の一部に預けるなどして、手だけで持っていない。	
	小計		150			
総合評価	チェーンソーワーク		20		前後ハンドルの持ち方や取り扱い。 優 −0、 良 −10、 不可 −20	【かかり木について】 ・競技者が審査班長に申告（時間計測停止） ・ツルの修正や切断は原則禁止
	目立て		20		良 −0、 可 −10、 不可 −20	・ツルの修正や切断は審査班長が判断、指示
	適正に整備されたチェーンソーの使用		20		良 −0、 可 −10、 不可 −20	・かかり木処理終了後、審査班長の合図で時間計測再開
	かかり木処理		20		適正な機資材の選択 適正な機資材の使用 良−0、 可−10、 不可−20	・競技者は退避場所へ戻り、安全確認、終了を合図し競技終了
	適切な伐倒用具の使用		20		整備された適切な用具を使用しているか	
	小計		100			
伐倒・造材合計			1,210		競技時間 分 秒	
失格 （丸で囲う）					故障や不具合により競技が続行できない 笛の携帯がない 危険行為や怪我	

* 審判結果は得点欄へ減点を差し引いた得点を記入。規定値がある場合を除き、「出来ている場合は減点無」、「出来ていない場合は配点全て減点」で記入。必要があれば特記事項を記入する。

伐根計測



- ①受け口完成後に競技を一時中断し、受口角度と会合線を審査する。
- ②競技終了後、計測班長は伐根の中心を通る伐倒方向に伐根径基準線（赤線）を引き、伐根径を測る。また、この伐根基準線と中心で直角に交わる横方向及び受口側のツルとの境を横方向の水平基準線（オレンジ色線）とする。
- ③伐根径から受け口水平切深さ、ツル幅の規定値を算出する。
- ④受け口水平切深さを実測する。
- ⑤受け口水平切面にL字アングルを置き、地際からの高さを計測する。
- ③基準線上にL字アングルを置き、その上に角度測定器を置き、受口、追口の伐倒方向と横方向の水平度を計測する。
- ④ツル幅の最大・最小値を計測する。
- ⑤追口面にL字アングルを置き、追口高さの最大・最小値を計測する。
- ⑥受口水平切面にL字アングルを置き、地際からの高さを計測する。
- ⑦以上の計測値を記録簿に記す。ただし、角度は0.1度未満切り捨て、以外は1mm未満切り捨てとする。

計測用具

三角定規、直線定規、L字アングル、角度測定器、ノギス、コンベックス

伐根計測記録簿

選手番号		選手氏名	
------	--	------	--

		規定値	実測値	誤差、可否	配点	減点
受口	水平切高さ	15 c m以下	c m	可 不可	10	
	水平切深さ	8 c m以上10 c m以下	c m	c m	30	
	伐倒方向水平	0度	度	度	20	
	横方向水平	0度	度	度	30	
追口	追口高さ	3 c m以上	c m	c m	20	
		5 c m以下	c m	c m	20	
	負い口高さ両端誤差	0.5cm	c m	c m	20	
	ツル幅	2.0 c m以上	c m	c m	30	
		3.0 c m以下	c m	c m	30	
	ツル幅平行誤差	0.5 c m	c m	c m	30	
	伐倒方向水平	0度	度	度	20	
	横方向水平	0度	度	度	20	

減点基準表

		規定値	減点基準
受口	斜め切角度	4 5度以上	可 -0、 不可 -30
	会合線	完全な一致	可 -0、 不可 -30
	水平切高さ	15 c m以下	可 -0、 不可 -10
	水平切深さ	8 c m以上10 c m以下	規定値以内 -0、 誤差0.5cm未満 -10 誤差0.5 c m以上1.0 c m未満 -20 誤差1.0 c m以上 -30
	伐倒方向水平	0度	0.5度未満 -0、 0.5度以上1度未満 -10、 1度以上 -20
	横方向水平	0度	0.5度未満 -0、 0.5度以上1度未満 -10、 1度以上 -30
追口	追口高さ	3 c m以上	規定値以内で誤差0.5cm未満 -0
		5 c m以下	規定値以内で誤差0.5 c m以上1cm未満 -10 規定値以内で誤差1 c m以上 -20
	負い口高さ両端誤差	0.5cm	規定値外 -20
	ツル幅	2.0 c m以上	規定値以内で誤差0.5cm未満 -0
		3.0 c m以下	規定値以内で誤差0.5 c m以上1cm未満 -20 規定値以内で誤差1 c m以上 -30
		0.5 c m	規定値外 -30
	伐倒方向水平	0度	0.5度未満 -0、 0.5度以上1度未満 -10、 1度以上 -20
	横方向水平	0度	0.5度未満 -0、 0.5度以上1度未満 -10、 1度以上 -20

第31回静岡県伐木技術競技会 模擬伐倒競技審査表

選手番号：

選手氏名：

安全チェックリスト				
項目		減点	回数	減点
行動の安全	イヤーマフ、バイザーの使用	2		
	指差し呼称（上、周囲、罵倒方向、退避場所）	2		
	チェーンソーの始動	2		
	右手でのブレーキ操作（片手操作）	2		
	左手の親指を握りこめていない	2		
	ブレーキをかけずに移動（2歩以上）	2		
	ソーチェーンが回転している状態で歩行した	2		
	受け口側への回り込み	2		
	キックバックの発生	2		
	退避に関する不安全行動	2		
	適正に整備されたチェーンソーの使用	2		
	その他、審査員が認める不安全行動	2		
			減点合計①	

	指定寸法	測定寸法	ズレ	得点	
伐倒方向のズレ（cm）	0				ズレ：0～10cm以下：20ポイント 10cm超～50cm以下：10ポイント 50cm超～100cm以下：5ポイント 100cm超～：0ポイント
受け口・深さ（mm）	90				ズレ：0～10mm以下：5ポイント 10mm超～：0ポイント * 受け口中央部
受け口・角度（度）	45				ズレ：0～10度以下：5ポイント 10度超～：0ポイント
会合線の一致	一致				* 会合線の不一致（10mm以上）－10ポイント
会合線水平度（度）	0				ズレ：0～1度以下：20ポイント 1度超～2度以下：10ポイント 2度超～3度以下：5ポイント 3度超～：0ポイント
ツル幅・右（mm）	30				ズレ：0～5mm以下：15ポイント 5mm超～10mm以下：10ポイント 10mm超～15mm以下：5ポイント 15mm超～：0ポイント * ツル幅無し－10ポイント 中央部の切残り－5ポイント
ツル幅・左（mm）	30				ズレ：0～5mm以下：15ポイント 5mm超～10mm以下：10ポイント 10mm超～15mm以下：5ポイント 15mm超～：0ポイント
ツル高・右（mm）	50				ズレ：0～10mm以下：10ポイント 10mm超～20mm以下：5ポイント 20mm超～：0ポイント * ツル高無し－10ポイント
ツル高・左（mm）	50				ズレ：0～10mm以下：10ポイント 10mm超～20mm以下：5ポイント 20mm超～：0ポイント * ツル高無し－10ポイント
得点の合計②					

総得点 ②－①	－	=	点	タイム：	分	秒
---------	---	---	---	------	---	---

失格 （丸で囲う）	丸太上部からの覗き込み 故障や不具合により競技が続行できない 危険行為や怪我
-----------	--